



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月14日

上場会社名 株式会社 シンニタン
 コード番号 6319 URL <http://snt.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務部長
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 橋本 諭
 (氏名) 小林 謙治
 TEL 044-200-7812

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	14,787	15.3	629	52.9	856	45.8	850	19.6
2019年3月期第3四半期	17,450	8.8	1,335	11.7	1,580	7.9	1,057	8.8

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 903百万円 (737.5%) 2019年3月期第3四半期 122百万円 (94.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	17.30	
2019年3月期第3四半期	21.51	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	38,788	31,307	80.2
2019年3月期	38,975	30,900	78.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 31,125百万円 2019年3月期 30,727百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		10.00	10.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,300	15.2	850	50.6	1,100	45.0	950	27.9	19.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料10ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	55,000,000 株	2019年3月期	55,000,000 株
2020年3月期3Q	5,848,502 株	2019年3月期	5,849,742 株
2020年3月期3Q	49,150,600 株	2019年3月期3Q	49,146,066 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

(注)期末自己株式数及び期中平均株式数には、従業員インセンティブ・プラン「株式給付信託(J-ESOP)」制度に係る信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有している当社株式を含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

*本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第 3 四半期連結累計期間（以下「当第 3 四半期」という。）におけるわが国経済は、個人消費や雇用環境他の改善等を背景に緩やかな回復基調が続きましたが、輸出が引続き弱含むなか製造業を中心に弱さが一段と増す状況となりました。一方、わが国をとりまく世界経済は、米中貿易摩擦問題をめぐる中国経済の減速、英国のEU離脱など、不確実性が高まり先行きの不透明な状況が続きました。

このような状況下、当社とその連結企業（以下「当社グループ」という。）の当第 3 四半期の売上高は、鍛造事業で主要取引先のグローバル販売の低迷のあおりを受けたことや物流事業で前期業績に寄与した取引が終息したこと、更に昨年夏場以降の世界経済の減速の影響も受け、前年同四半期比 26 億 62 百万円減少の 147 億 87 百万円となりました。利益面は、売上高の減少により、営業利益が前年同四半期比 7 億 5 百万円減少の 6 億 29 百万円、経常利益は、前年同四半期比 7 億 24 百万円減少の 8 億 56 百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は当社の完全子会社株式会社ジェイ・エム・ティ（以下「JMT」という。）の吸収合併による税効果の増益要因もありましたが前年同四半期比 2 億 7 百万円減少の 8 億 50 百万円に止まりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

当社グループの主要事業である鍛造事業は、売上高は前年同四半期比 17 億 43 百万円減少の 127 億 5 百万円、営業利益は売上高の減少により前年同四半期比 5 億 68 百万円減少の 7 億 63 百万円となりました。各分野の状況は以下のとおりです。

① 自動車産業向け

鍛造品の主要マーケットである国内自動車産業は海外生産拡大による現地調達化の基調が続いており、国内自動車産業向けの鍛造品は引続き伸び悩んでおります。また、当社主力の大型部品の引き合いは依然として強くない状況が続き、前期好調であった SUV 車向けも低位で推移しました。

海外子会社の市場であるタイ国の自動車産業においては、タイ・パーツ高により輸出が振るわないことや、同国での自動車ローンの引き締め等もありタイ国内での自動車生産台数も減速しました。さらに同社が得意としている分野においては、部品搭載車種の販売低迷の影響を受け、当社鍛造品は減少いたしました。

② 建設機械産業向け

建設機械産業においては、年度前半では、北米市場での建設機械需要が堅調であったことや補用部品の引合いがあったこともあり、関連する鍛造部品も堅調に推移しておりましたが、昨年夏場以降の世界経済の減速の影響も受け、建設機械需要も低位となり関連する鍛造品も減少しました。

仮設機材の販売・リースを行う建機事業は、首都圏での再開発事業や社会インフラの改修整備等から、仮設機材の需要は引続きあるものの、機材保有量の高止まりや建設関連職人の人手不足問題ならびに人件費の高騰による建設工事の一部見直し等も見られます。当社では一部の仮設機材の販売が増加したこともあり、売上高は前年同四半期比 1 億 77 百万円増加の 13 億 68 百万円となりましたが、営業利益は、リース部門の収益低調の影響を受け、前年同四半期比 5 百万円減少の 69 百万円となりました。

金属製パレットの製造販売を中心とした物流事業は、前期業績に寄与した大口取引が終息したことと主要取引先の販売低迷と新車投入の遅れの影響を受けたことから、売上高は前年同四半期比 10 億 89 百万円減少の 5 億 89 百万円、営業利益は売上高の低迷により 18 百万円に止まりました。

不動産事業の売上高は、一部テナントの退去もあり前年同四半期比 7 百万円減少の 1 億 23 百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ3億65百万円減少し、200億69百万円となりました。これは、売上債権が4億14百万円減少したことと、配当金の支払いもあり現金及び預金が29百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1億77百万円増加し、187億19百万円となりました。これは、株価下落により投資有価証券が3億62百万円減少しましたが、鍛造事業においてタイ子会社のアクスルシャフト加工ライン増設および関連設備更新・国内子会社の特高受電所受電設備更新ならびに国内外鍛造工場における改修工事および鍛造機の改修等により有形固定資産が4億72百万円増加したこと、子会社JMTの吸収合併により繰延税金資産が72百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ1億87百万円減少し、387億88百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1億1百万円減少し、66億12百万円となりました。これは、短期借入金が増加しましたが、支払債務が2億74百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ4億93百万円減少し、8億68百万円となりました。これは、株式時価下落による投資有価証券の含み益減少と、子会社JMTの吸収合併による税効果を背景に、繰延税金資産と繰延税金負債の見直しを行なったことで繰延税金負債が4億43百万円減少したことなどによります。

なお、前連結会計年度末に計上しておりました役員退職慰労引当金は、同制度の廃止ならびに6月27日に開催した定時株主総会にて役員退職慰労金打切支給が決議されたことにより、長期未払金に振替を行っております。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億7百万円増加し、313億7百万円となりました。これは、投資有価証券の株価下落による減少によりその他有価証券評価差額金が2億52百万円減少しましたが、利益剰余金が3億57百万円増加したことと、タイ・パーツ高により為替換算調整勘定が2億91百万円増加したことなどによります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より29百万円減少し、113億10百万円となりました。

各活動のキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、税金等調整前四半期純利益6億86百万円計上ならびに減価償却を8億56百万円実施したことなどにより、14億83百万円の増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、有形固定資産の取得等により、11億30百万円の減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、1億40百万円の短期借入金増加がありましたが、配当金の支払い4億92百万円もあり、3億56百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当年度の連結業績予想については、本日開示しました「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、長引く米中貿易摩擦や新興国経済の減速・英国のEU離脱などを背景とする海外経済の減速により、当社主力の鍛造事業での受注状況が影響を受け収益が悪化する事や老朽資産の処分等も実施することから、2019年5月15日に開示しました今期の業績予想を以下のとおり変更しております。

単位：百万円

	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B) - (A)
売上高	21,100	19,300	△1,800
営業利益	1,150	850	△300
経常利益	1,450	1,100	△350
当期純利益	1,350	950	△400

(注) 上記の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が合理的と判断した見通しであり、市場の動向・為替の変動などのリスクや不確実性を含んでおり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性がございます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,340,051	11,310,974
受取手形及び売掛金	3,447,865	3,226,752
電子記録債権	1,061,682	868,205
製品	1,891,709	1,925,627
半製品	87,665	106,032
仕掛品	1,095,861	1,087,781
原材料及び貯蔵品	869,581	831,841
その他	640,613	712,426
貸倒引当金	△348	△316
流動資産合計	20,434,683	20,069,325
固定資産		
有形固定資産		
土地	6,240,675	6,249,264
その他(純額)	6,756,941	7,221,201
有形固定資産合計	12,997,617	13,470,465
無形固定資産	55,567	48,005
投資その他の資産		
投資有価証券	5,311,189	4,948,599
その他	188,995	264,036
貸倒引当金	△12,080	△12,080
投資その他の資産合計	5,488,105	5,200,555
固定資産合計	18,541,289	18,719,026
資産合計	38,975,973	38,788,352

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,556,763	3,194,202
電子記録債務	1,126,695	1,215,234
短期借入金	1,050,000	1,190,000
未払法人税等	193,010	94,238
賞与引当金	164,553	143,660
その他	622,657	775,153
流動負債合計	6,713,680	6,612,489
固定負債		
役員退職慰労引当金	100,033	—
環境対策引当金	198,230	198,230
株式給付引当金	24,722	24,166
退職給付に係る負債	484,339	450,317
その他	554,349	195,364
固定負債合計	1,361,674	868,077
負債合計	8,075,355	7,480,567
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,256,723	7,256,723
資本剰余金	6,660,886	6,660,886
利益剰余金	17,047,432	17,405,290
自己株式	△1,802,119	△1,801,600
株主資本合計	29,162,922	29,521,300
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,402,438	1,150,126
為替換算調整勘定	162,590	454,381
その他の包括利益累計額合計	1,565,029	1,604,507
非支配株主持分	172,665	181,977
純資産合計	30,900,617	31,307,785
負債純資産合計	38,975,973	38,788,352

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	17,450,278	14,787,820
売上原価	14,814,290	12,962,126
売上総利益	2,635,988	1,825,693
販売費及び一般管理費		
従業員給料	331,726	348,214
運賃	316,771	253,727
その他	652,399	594,659
販売費及び一般管理費合計	1,300,898	1,196,600
営業利益	1,335,090	629,092
営業外収益		
受取利息	25,095	39,297
受取配当金	125,837	122,471
受取補償金	58,298	—
その他	87,584	100,094
営業外収益合計	296,815	261,863
営業外費用		
支払利息	6,774	6,604
金型廃棄損	33,249	26,763
その他	11,828	1,566
営業外費用合計	51,852	34,933
経常利益	1,580,053	856,022
特別損失		
固定資産処分損	76,026	159,323
災害損失	—	8,821
たな卸資産処分損	6,265	—
クレーム費	21,230	—
投資有価証券売却損	—	1,298
特別損失合計	103,522	169,443
税金等調整前四半期純利益	1,476,530	686,578
法人税、住民税及び事業税	427,733	233,519
法人税等調整額	△20,777	△404,879
法人税等合計	406,956	△171,359
四半期純利益	1,069,574	857,938
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,057,356	850,346
非支配株主に帰属する四半期純利益	12,217	7,591

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,037,127	△252,312
為替換算調整勘定	90,045	297,745
その他の包括利益合計	△947,082	45,433
四半期包括利益	122,492	903,371
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	108,473	889,824
非支配株主に係る四半期包括利益	14,018	13,546

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 : 千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 2018年 4 月 1 日 至 2018年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 2019年 4 月 1 日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1, 476, 530	686, 578
減価償却費	862, 102	856, 963
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△35	△31
受取利息及び受取配当金	△150, 933	△161, 768
支払利息	6, 774	6, 604
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△29, 747	△20, 892
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△49, 130	△34, 022
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3, 370	2, 411
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	—	△556
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	1, 298
売上債権の増減額 (△は増加)	311, 522	456, 376
有形固定資産処分損益 (△は益)	76, 026	159, 323
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△64, 101	12, 662
仕入債務の増減額 (△は減少)	△360, 985	△312, 577
その他	71, 413	△168, 861
小計	2, 152, 808	1, 483, 509
利息及び配当金の受取額	150, 932	161, 772
利息の支払額	△6, 774	△6, 604
法人税等の支払額	△463, 665	△322, 083
営業活動によるキャッシュ・フロー	1, 833, 300	1, 316, 595
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△662, 934	△1, 128, 681
投資有価証券の取得による支出	△742, 225	△50, 448
投資有価証券の売却による収入	—	48, 701
その他	940	18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1, 404, 219	△1, 130, 409
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△100, 000	140, 000
配当金の支払額	△418, 616	△492, 488
非支配株主への配当金の支払額	△4, 218	△4, 234
自己株式の取得による支出	△58	△21
財務活動によるキャッシュ・フロー	△522, 893	△356, 744
現金及び現金同等物に係る換算差額	38, 326	141, 481
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△55, 486	△29, 077
現金及び現金同等物の期首残高	11, 091, 620	11, 340, 051
現金及び現金同等物の四半期末残高	11, 036, 134	11, 310, 974

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

法人税等の処理は、法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	鍛造事業	建機事業	物流事業	不動産事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	14,449,505	1,191,118	1,678,792	130,862	17,450,278
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	14,449,505	1,191,118	1,678,792	130,862	17,450,278
セグメント利益	1,332,446	74,995	150,554	64,470	1,622,466

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,622,466
全社費用 (注)	△ 287,376
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	1,335,090

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	鍛造事業	建機事業	物流事業	不動産事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	12,705,943	1,368,555	589,765	123,555	14,787,820
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,705,943	1,368,555	589,765	123,555	14,787,820
セグメント利益	763,654	69,853	18,691	58,020	910,219

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	910,219
全社費用 (注)	△ 281,127
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	629,092

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。